

みなさん！ 自粛生活どうのりきっていますか！ 原発をなくし 安心して生きられる社会へ

3密を避けた自粛生活を送る中で、目に見えないウイルスの怖さを原発事故による放射能に重ね合わせ、「原発はいらない！」の思いを強くした方も多いのではないのでしょうか。

◆もし今原発事故が起きたら 避難はどうなるの？

自然災害での避難も3密をどう防ぐかが大きな課題になっていきます。ただでさえ安全な避難は難しいと言われる原子力災害の場合の困難さは想像に余りありません。

◆原発事故による環境破壊も

— 人類の生存を脅かす核 —

新型ウイルスの出現は、人類による自然破壊が進み地球環境の変化が生態系に影響を及ぼしていることも原因の一つと言われています。ウイルスそのものは人類が英知を集めその時々克服してきました。放射性物質は何万年の間、危険性をなくすることができない人類の手には負えないものです。

コロナ禍の下にあつてなお電事連は、「原子力は発電時にCO2を出さない地球環境を守るエネルギーだ」と宣伝して、再稼働推進の世論形成をねらっています。原子力災害は、生存権を脅かし地球環境を破壊する最たるものです。

◆ウイルス禍の下の原発運転・工事・点検は3密で危険

原発作業は敷地内で多くの作業員が働く3密で県外からの出入りなどもあり感染の危険があります。柏崎刈羽原発でも3300人規模で作業が行われています。感染拡大の危険が高い今、工事等を中止することが必要ではないでしょうか。

◆問題多い核再処理工場「合格」

これまでも事故や故障が繰り返され完成時期が24回も延期されてきたもの。再処理自体が危険であり運転すれば福島原発で問題になっている処理水と比べものにならないレベルのトリチウムが環境中に放出されます。核兵器に転用可能なプルトニウムの大量保有も問題であり、再処理工場を動かすことは問題外です。



柏崎市長は「再稼働」に慎重姿勢を

～4月21日、柏崎市議会が「経年累進課税案」を可決の中で～

桜井雅浩柏崎市長は2018年4月、累進課税導入に向けた協議を東電と始めたことを明らかにし、「今の段階で再稼働の条件にするとは考えていない」と話した。ところが2年経った今年に入って、経年累進化は「6,7号機再稼働の前提条件」と発言。採決に先立つ柏崎市議会での質疑でも「再稼働の価値は認める」などと答えています。また、柏崎市が実施した市民意識調査を巡り桜井市長は「直ちに全号機廃炉にすべき」という回答が9.2%だとして、約8割は再稼働を容認または否定していないと恣意的な解釈をするなど、再稼働容認に前のめりの姿勢を強めています。

しかし、原発再稼働は立地市村だけの問題ではありません。万一事故が起きれば広範な地域に多大な被害を及ぼします。広い視野に立って慎重に判断することを求めます。

原発ゼロ長岡市民ネット街宣行動
6月から11日行動を再開します
★6月11日(木) 16時～16時半
★アオーレ長岡前にお誘い
あわせてご参加ください。



ゼロネットニュース 100号を迎える

2011年11月27日の会のスタートと共に歩んできました。充実した紙面づくりのために、みなさんのご寄稿をお待ちしています。

原発ゼロ長岡市民ネットニュース
第100号 2020年5月29日発行

連絡先 広井洋子 長岡市寿2-5-15
電話・FAX 0258-24-2870
佐藤 090-4925-3707